

2015年 第3問

1枚目 / 2枚


 数理  
石井K

3 座標空間において、3点  $O(0, 0, 0)$ ,  $A(1, 1, 0)$ ,  $B(2, 1, 1)$  の定める平面を  $\alpha$  とし、3点  $(0, 0, 0)$ ,  $(0, 1, 1)$ ,  $(1, 0, 1)$  の定める平面を  $\beta$  とする。また、平面  $\alpha$  と平面  $\beta$  が交わってできる直線を  $l$  とし、平面  $\alpha$  上の点  $P$  の座標を  $(2, -1, 3)$  とする。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1)  $\vec{OP}$  を  $\vec{OA}$ ,  $\vec{OB}$  を用いて表せ。  
 (2) 直線  $l$  上の点を  $\vec{OA}$ ,  $\vec{OB}$  と実数  $k$  を用いて表せ。  
 (3) 点  $P$  から直線  $l$  に垂線を下ろす。このとき、直線  $l$  と垂線との交点の座標を求めよ。

(1)  $\vec{OP} = s\vec{OA} + t\vec{OB}$  とおくと、

$$(2, -1, 3) = (s+2t, s+t, t)$$

各成分を比較すると、 $t=3, s=-4 \quad \therefore \vec{OP} = -4\vec{OA} + 3\vec{OB}$  //

(2)  $l$  上の点を  $Q$  とおくと、 $Q$  は平面  $\alpha$  上の点より、

$$\vec{OQ} = x\vec{OA} + y\vec{OB} \quad \text{と表せる。}$$

一方、 $Q$  は平面  $\beta$  上の点でもあるから

$$\vec{OQ} = z(0, 1, 1) + w(1, 0, 1) \quad \text{と表せる}$$

$$\text{よって、} (x+2y, x+y, y) = (w, z, z+w)$$

$$\begin{cases} x+2y = w & \dots \textcircled{1} \\ x+y = z & \dots \textcircled{2} \\ y = z+w & \dots \textcircled{3} \end{cases}$$

$\textcircled{1}, \textcircled{2}$  を  $\textcircled{3}$  に代入して、 $w, z$  を消去すると、 $2x+3y=y \quad \therefore x=-y$

$\therefore y=-x=-w, z=0$  とすると  $\textcircled{1} \sim \textcircled{3}$  はすべて成り立つ

さらに、 $x=k$  とするとき、 $\vec{OQ} = k\vec{OA} - k\vec{OB}$

$\therefore l$  上の点は  $k(\vec{OA} - \vec{OB})$  // と表せる。

平面  $\alpha, \beta$  がともに原点を  
通っているから。

(3) 交点を  $Q$  とおくと、 $PQ \perp l$  であり  $l$  は 原点を通る直線 であるから

$$\vec{PQ} \perp \vec{OQ} \quad \text{よって } \vec{PQ} \cdot \vec{OQ} = 0$$

$$\begin{aligned} \therefore \{k(\vec{OA} - \vec{OB}) - (-4\vec{OA} + 3\vec{OB})\} \cdot k(\vec{OA} - \vec{OB}) &= \{(k+4)\vec{OA} - (k+3)\vec{OB}\} \cdot k(\vec{OA} - \vec{OB}) \\ &= k\{(k+4)|\vec{OA}|^2 - (2k+7)\vec{OA} \cdot \vec{OB} + (k+3)|\vec{OB}|^2\} \\ &\dots (*) \end{aligned}$$

2015年 第3問

2枚目 / 2枚


 数理  
石井K

3 座標空間において、3点  $O(0, 0, 0)$ ,  $A(1, 1, 0)$ ,  $B(2, 1, 1)$  の定める平面を  $\alpha$  とし、3点  $(0, 0, 0)$ ,  $(0, 1, 1)$ ,  $(1, 0, 1)$  の定める平面を  $\beta$  とする。また、平面  $\alpha$  と平面  $\beta$  が交わってできる直線を  $l$  とし、平面  $\alpha$  上の点  $P$  の座標を  $(2, -1, 3)$  とする。このとき、以下の問いに答えよ。

- (1)  $\vec{OP}$  を  $\vec{OA}$ ,  $\vec{OB}$  を用いて表せ。  
 (2) 直線  $l$  上の点を  $\vec{OA}$ ,  $\vec{OB}$  と実数  $k$  を用いて表せ。  
 (3) 点  $P$  から直線  $l$  に垂線を下ろす。このとき、直線  $l$  と垂線との交点の座標を求めよ。

(3) のつぎ。

$$|\vec{OA}| = \sqrt{2}, |\vec{OB}| = \sqrt{6}, \vec{OA} \cdot \vec{OB} = 2 + 1 = 3 \text{ より}$$

$$\begin{aligned} (*) &= k \{ 2(k+4) - 3(2k+7) + 6(k+3) \} \\ &= k(2k+5) \end{aligned}$$

$$Q \neq O \text{ より } k \neq 0 \therefore k = -\frac{5}{2}$$

$$\begin{aligned} \therefore \text{このとき } \vec{OQ} &= -\frac{5}{2}(\vec{OA} - \vec{OB}) \\ &= \left(\frac{5}{2}, 0, \frac{5}{2}\right) \end{aligned}$$

$$\therefore \text{交点は } \underline{\underline{\left(\frac{5}{2}, 0, \frac{5}{2}\right)}}$$